

平成 2 7 年

高 松 市 教 育 委 員 会 5 月 定 例 会

会 議 録 (抄 本)

5月28日(木)開会

5月28日(木)閉会

出席委員			
委員長	神内 仁		
委員	児玉 令江子		
	木場 巳男		
	藤本 英子		
教育長	松井 等		
欠席委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	東原 利則		
教育局次長 総務課長事務取扱	森田 素子		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	橋本 良治		
総務課長補佐	楠原 昌能		
総務課総務係長	田中正徳		
会議録署名委員	木場 巳男		
事務局担当書記	秋山 博昭		

【特記事項】 傍聴人なし

議 事 日 程（5月定例会）

日程第1 4月定例会会議録承認について

日程第2 報告事項

- 1 第67回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会厚木大会における分野別研究発表について
- 2 平成26年度市民満足度調査結果（教育委員会関係）について

【平成27年5月28日（木） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

委員長が、会議録の署名委員に木場委員を指名。

日程第1 4月定例会会議録承認について

委員長が、4月定例会会議録承認について各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 報告事項

報告事項1 「第67回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会厚木大会における分野別研究発表について」

教育長から、5月21、22日に厚木市にて開催された全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会において、教育長により行われた分野別研究発表について報告。

<質疑>

- 委 員 この発表資料はとともよくできていて、これだけに使うのにはもったいない気がします。これを見たら、内容がよく分かります。
 - 委 員 長 持ち時間は一人何分ぐらいですか。
 - 教 育 長 一人20分でしたが、予定時間は超えました。
 - 委 員 発表に対して質問をされるのは、すごいです。
 - 教 育 長 関心のある内容がたくさん出た発表であったからだと思います。
-

報告事項2 「平成26年度市民満足度調査結果（教育委員会関係）について」

総務課長から、平成26年度市民満足度調査結果のうち、教育委員会関係部分についてについて報告。

<質疑>

- 委員 今年も学校訪問をさせていただいており、クーラーが100%行き届いたと聞きましたが、一般の人々には学校教育の設備のことが、案外知れ渡っていないということが多いです。そのような認知度をどのように上げていくか。この「家庭教育の向上」や「学校教育の充実」の表を見ましても、不満としている人たちが、そのような状況を知らないで、不満としているのかなと思います。

この調査の対象者はどのような人たちですか。

- 総務課長 満20歳以上の方を無作為抽出しています。
- 教育長 例えばエアコンの全校設置について、広報等で市民に周知をしたい気はします。
- 委員 そのような宣伝はさらにしてもらいたいと思います。学校に冷房は贅沢という意見もあり、冷房は高価なものでありますが、理解をいただけたらいいと思います。
- 教育長 「学校教育の充実」については、2、3年前から不満足度の折れ線が下がってきていますが、学校教育について評価させていただいており、市民の方も見るころは見てくれていると思っています。
- 委員 このようにやっているという姿勢をもっと見せた方がいいと思います。
- 委員長 高等教育はどこからですか。
- 教育長 大学からです。
- 委員 これをどう教育委員会が反映するのかなと思っています。2ページに回答の年齢階層がありまして、学校現場を知っている20代から40代までが30%くらいで、それ以外の70%の人が学校現場を知らない中で調査をしています。教育委員会としてこのまま結果を受け止めるのか、又はこのような意見等もあると受け止めるのかで大分違う気がします。11ページに施策に対する不満度の高い中に教育委員会の管轄はないと説明がありましたが、ここにある「家庭・地域における子育て支援」

については一般の人にとっては教育委員会が管轄をしていると思っていると思います。施策としては教育委員会の管轄ではありませんけどもどう取り組むか、このあたりも横の連携、縦の連携をしていかないと、と思います。この資料をどう使っていくかがとても難しいと思います。

以前、保護者の方等にアンケートをしたときの方がリアリティーのある意見がありました。

- 教 育 長 教育的な視点だけでアンケートをすれば絞り込めますが、全てが対象ですので中々難しいと思います。
- 委 員 学校現場が知らない人が多いと思いますし、老人の方はそこまで知らないと思います。
- 委 員 このように一所懸命やっている姿勢を良いことですので、もっと見せるべきと思います。
- 委 員 どの施策も普通が圧倒的に多いです。普通の中にも不満の部分もありますし、満足している部分もあって、総じて考えると普通かなということで、普通としている方が大半であると思います。大半が普通の中で満足が不満より多いからよしとするのではなく、自由意見を重視しすぎることもどうかと思いますが、あえて自由意見を書かれていることは、非常に強く思われているところだと思いますので、これらの意見を大変ですが見ていただいて、普通の中でもこのような意見があるということで取り上げて、どう反映し、取り入れていくかだと思います。

このまま調査をただけではもったいないと思います。子育て支援は学校教育とは違いますが、不満度の高い順で3位と4位に「子育てと仕事の両立支援」、「家庭・地域における子育て支援」が不満度の上位にあります。教育の話になるときに、家庭教育を充実することが大事であり、結局は家庭ですとここでもよく話していますが、施策としては不満が挙がっていますので、教育にも結び付けて考えていくかどうかだと思います。

- 委 員 長 「青少年の健全育成」は満足度が低いですが、どのような聞き方でアンケートをしているのですか。
- 生涯学習課長 市民満足度調査のアンケート用紙には、「青少年の健全育成」の施策の内容については、「次代を担う青少年が心豊かにたくましく育つよう、青少年の健全

育成に取り組みます。」としていまして、具体的な事業については、平成26年度の主な事業として少年体験活動の実施、非行防止活動の実施、成人式の開催、情報モラル研修の実施を記載し、それにより満足度を5段階で付けいただくようになってい

- 委員長 一般的に教育関係は満足度の高い順では上位にありますけども、これだけは低い評価になっています。漠然としているからでしょうか。
- 委員 質問の仕方にもよると思います。
- 委員 普通は半分くらい不満の意識があって、何分の一かは満足の意識があって普通となっているということではないですか。
- 委員 普通という項目をなくしたときにどちらにするか。やや満足とやや不満かで判断が難しいと思います。
- 教育長 市の施策の全部を聞いていますので、あまり踏み込んで聞けない部分もあります。踏み込まずに聞こうとすると、このような感じのものになります。今度の教育振興基本計画のアンケート調査であれば、教育の部分に深く入り込んだ質問で聞けますけども、市政全般ですので、今言われたような課題ですけども仕方がない部分はあります。
- 委員 自分が抽出されても、よく分かならいいですけども、いろいろとやってくれていると思えば、普通にしたいと思います。
- 教育長 強く印象を持っている方は満足、不満足で回答しているかと思います。ある程度そういう意識で見ますと、満足度の順位の赤い部分が高いことについては評価されていると思いますし、不満足度の順位の青い部分が低いことについても評価されていると解釈すべきかとは思いますが。
- 委員 自由意見は拾って、改善に結びつけるところは幾つかあります。就学支援のところで、家を建てたり、車に乗っている人がいるのはどうなるのかという意見がありました。それでしたら、就学支援の認定の審査をする時にもっと審査をきちんとしなければいけないように結びつけるとか、折角意見を書いてくれていることに対して、一つ一つ真摯に対応できるところはしていかないといけないかなと思います。
- 教育長 担当課の人が自由意見を読んでみて、自分の課のものを拾い出していかねればなりません。

- 委員 奨学金でもこのような不満があります。対応は難しいとは思いますが、このような不満があるのが、現場の事実です。
- 委員 自由意見は、余程意見があるから書いたと思いますので、一つ一つ参考にする必要はあると思います。
- 委員 「学校教育の混乱が情けない。3学期制から2学期制にしたり、また3学期制に戻したり、夏休みを短縮したりと、甚だ遺憾。一貫性のある教育を強く望みます。」という意見については、教育委員会としては一所懸命、理由や経緯について丁寧に説明しているつもりではありますけども、まだ伝わっていない部分とか、まだ理解を得ていない部分があるということの表れかなと思います。そのあたりを今後はどのような形で発信していけばより良いかを考える必要があると思います。
- 委員 この意見は保護者でない方の意見であると思います。保護者の方は分かっているんで、このような意見は出ませんが、そうでない年代の方がこの意見を出していると思います。
- 委員 広報やマスコミで情報が少し流れるだけですので、ころころ制度が変わっているという捉え方であると思います。しかし、学校教育を考えるに当たり、地域の連携や市民の皆さんの理解や協力が必要ですので、学校教育に関係ないから理解してただかなくてよいというのではなく、市民の皆さんに理解して、協力していただくという考えが必要だと思います。
- 委員 「学校教育の混乱が情けない」とありますが、混乱していないということを知ってほしいと思います。
- 委員長 市政には役立てていただきたいと思います。
- 委員 面白い意見が多いです。
- 教育局長 この調査自体は、市全体の施策を一般的な感覚としてお聞きしてしまして、市の施策の方向性として、どの部分が市民の方の感覚的には遅れているのかということをつかんで、そこにテコ入れしようというのが一番大きな目的です。先ほど委員の方からの意見にありましたとおり、教育委員会として反映すべき内容はこの中からも当然拾うべきですし、目的にあったアンケートが改めて必要という場合も出てくるのかなという気はします。ただ、自由意見については、それぞれの担当課で見て、また別のところで行いますそれぞれの施策の評価の時に、この市民アンケート

ト調査の結果や意見を反映して次のものを考えるという流れにはなっていますので、十分反映できるかは分かりませんが、意識としてはそういう意識を持ちながら進めています。

- 委員長 対応できることと、できないことがあります。
- 委員 アンケートに書く自由意見は普通は書いて終わりですが、このように表にさせていただいたり、担当課の皆さんが見ていただいて、それをどうするかを考えていただく機会があるというのは、一市民としてはすごく有難いと思います。
- 教育長 自由意見は、よく分かっていなくて書かれている意見もあります。「小学校の英語授業が遅れている」という意見がありますが、進んでいると思っていますし、「いじめをなくすための専門の先生を置くといい」という意見についても、既に置いています。知らないであるとか、啓発する努力も大切だと思います。先ほどの発表資料の内容を抽出したものを広報に出すとかしないと市民に分かってもらえない部分はあるかもしれません。
- 委員 今までに広報に出したことはないのですか。
- 教育長 一部出したことはあります。学期制や夏休みについては出したことはありますが、全容は出したことはありません。広報は市政全般ですので教育だけとはいかない部分はあります。
- 委員 学期制もこうなりますという表現ですので、混乱しているみたいに思われるのかもしれない。